科目名	国際ホテル・ノフィダル専門学校 シフハス キャリアデザイン						
担当教員		藤田愛子	実務授業の有無	0	授業形態	 対面と遠隔	
対象学科	-	全科	対象学年	1年	開講時期		
必修・選		必修	単位数	1+	時間数	230	
授業概要	授業概要、目的、 インターンシップへの不安を解消し、やる気と自 仲間づくりを通じて、コミュニケーション力を高		信を生む		250		
学習目標(到達目	日標 学校生活でのルールを知り、社会人となる人材育 達目標)			『成を行う。			
	スト・教材・参考 書・その他資料						
回数		授業項目、内容		学	習方法・準備学習	・備考	
1~20	オリエンテーション ぶ)	[,] (学校を知る・スケジュールを知	る・学校の規律を学				
21~30		-ション (学年イベントについて こついての説明・実習着の採寸なと					
31~35	パソコンの設定・使		- /	演習			
36~40	ゴールデンウィーク	の課題確認・時間割、テキスト説	 明・クラス交流				
41~50	英語サプリインスト	 · ール・使用方法、クラスホームル	·- Д				
51~65	クラスインフォメーション、面談						
66~70	1年生交流会						
71~80	クラスインフォメー	-ション					
81~95	夏フェス関連インフ	'ォメーション 参加		演習			
96~110	インターンシップレ	ポート、インターン先下調べ、大	掃除				
111~120	インターンシップ振	り返りレポート作成、後期時間割	説明				
121~125	学年決起スポーツ大	会の実施					
126~140	クラスインフォメー	-ション、面談					
141~145	避難訓練、業界セミ	ナー説明					
146~150	海外研修旅行説明会	\$					
151~160	海外研修下調べ						
161~170	求職登録面接対策						
171~180	第1回求職登録面接	と振り返り					
181~190	クラスインフォメー						
191~200	アンケート実施、腐 大掃除	[歴書用写具撮影、クレペリン実施	、クァ <mark>ス交</mark> 流、				
201~210	第2回求職登録面接	そと振り返り					
211~226	求職登録面接、就職						
227~230	学年交流、修了式、	大掃除		演習			
	評位	西方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>	
	50% 出席率 5 基準は、A(80点以_	0% 上)・B(70点以上)・C(60点以上	-)・D(59点以下)と		全体へのインフォメージ ように気を付けて話をす		
	野	ы у	欠玄 十二 ェ サマケゲ		に共立式ダアEや セ・ハ		
- 天務経	実務経験教員の経歴 外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり						

(2) 国際才	「アル・ファイタル専門	1子似 ノブ	`^	
<mark>科目名</mark>	実践行動学	<u> </u>		
担当教員 藤田愛子	実務授業の有無	0	授業形態	対面と遠隔
対象学科 全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択 必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 担業の進め方 1. 意欲的な心構え・自 をとりいれ、個人作業			般化→応用という手法	
学習目標 (到達目標) 半年毎の目標を設定さっ	せ、目標の実現を目指す為の	の思考力を学ぶ		
テキスト・教材・参 考図書・その他資料 実践行動学研究所 実践				
回数	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	学習	習方法・準備学習	習・備考
1 パート1 マジックドア1 夢と目標		個人作業・グル-	-プディスカッショ:	~
2 パート1 マジックドア2 間違った思い	2 パート1 マジックドア2 間違った思い込みと言い訳			·/
3 パート1 マジックドア3 自分への信頼	質を取り戻すために①	個人作業・グル-	-プディスカッション	~
4 パート1 マジックドア4 自分への信頼	質を取り戻すために②	個人作業・グループディスカッション		
5 パート1 マジックドア5 目標を設定し	しよう	個人作業・グループディスカッション		
6 パート2 マジックドア1 プラス思考が	が能力・可能性を広げる	個人作業・グル-	- プディスカッショ :	·/
7 パート2 マジックドア2 考え方を変え	えれば行動が変わる	個人作業・グル-	-プディスカッション	·
8 パート2 マジックドア3 あなたの問題		個人作業・グル-	- プディスカッショ :	~
9 パート2 マジックドア4 コミュニケーう	ーションスタイルを見直そ	個人作業・グル-	-プディスカッショ:	·
10 パート2 マジックドア5 目標が才能		個人作業・グル-	-プディスカッション	
評価方法・成績評価基 	準		履修上の注意	
出席率80% 授業態度20% 明確な目標設定を行なわせ、常に向上心を持たせられるよう成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				を持たせられるよう 留
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験	験あり、英会誌	舌講師経験あり	

<mark>科目名</mark>		・ノフィダル専F 					
担当教員	立島 信貴	実務授業の有無	0	授業形態	対面と遠隔		
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	 前期		
必修・選択	必修	単位数		時間数	25		
授業概要、目的、 1.社会においてコミュニケーションの大切さを知る 2.あらゆる場面で、よりスムーズなコミュニケーションをとるための技術を身							
学習目標 (到達目標)	コミュニケーション検定初級の取得を目指す						
テキスト・教材・参 考図書・その他資料							
回数	授業項目、内容		学	習方法・準備学習	・備考		
1 · 2	&付け、授業の進め方 ′する ・コミュニケーションの	定義	講義(コミュニケーション技法テキスト使用)				
3・4 ・聞く力 ・話す	- カ		講義・チェック問題(公式ガイドブック使用)				
5・6 ・来客応対 ・電	電話対応		講義・チェック	問題(公式ガイドブ)	ック使用)		
7・8 ・接客 営業 ・	7・8 ・接客 営業 ・クレーム対応			問題(公式ガイドブ)	ック使用)		
9・10 ・ことばを選び抜	えく ・表現、伝達する (外部	講師)	講義・チェック	問題(公式ガイドブ)	ック使用)		
11・12 ・会議、取材、ヒ	アリング ・面接		講義・チェック問題(公式ガイドブック使用)				
13・14 模擬問題演習			問題演習・解答解説(公式ガイドブック使用)				
15・16 過去問題1			問題演習・解答解説				
17・18 過去問題 2			問題演習・解答解説				
19 ・きれいな発声・ ・正しい日本語を	発音を身につけよう :身につけよう (外	部講師)	講義・演習(コ	ミュニケーション技法	去テキスト使用)		
20・21 過去問題3 (マー	-クシートを使って)		問題演習・解答	解説			
22・23 過去問題 4 (マー	-クシートを使って)		問題演習・解答	解説			
24・25 最終チェック問題	- Indiana in the state of the s		問題演習・解答	——————— 解説			
言平·	価方法・成績評価基準			履修上の注意	Ţ		
過去問題テスト80%、授業 成績評価基準は、A(80点り する。		ために、復習に力を入れ 友達同士で共有・解決・	- •				
実務経験教員の経歴							

② <mark>科目名</mark>								
担当教 担当教		髙橋香織	実務授業の有無	T	授業形態	対面と遠隔		
<u> </u>		全科	対象学年	1	開講時期			
· 必修・		必修	単位数		時間数	25		
	要、目的、 進め方	1.ホスピタリエ資格取得をし	、ホスピタリティを	広めることができ	きる人材になる			
学習目 (到達		日常生活の中にホスピタリエ 社会の課題をホスピタリティ				る。		
	スト・教材・参 ・その他資料	筆記用具						
回数		授業項目、内容		学	習方法・準備学習	習・備考		
1~5	ホスピタリエ認定	?講座		パワーポイント	・テキスト			
6	ホスピタリエが学	⁴ ぶホスピタリティ		パワーポイント				
7	ごきげんなホスヒ	゚タリエになるために必要な5	つの資質	パワーポイント				
8	ホスピタリエのコ	ミュニケーション習慣		パワーポイント				
9	ホスピタリエの共	-感力を磨こう!		パワーポイント				
10	ホスピタリエが家	☆ 族に一番近い他人になるため	IC	パワーポイント				
11	ホスピタリエのホ	スピタリエ紹介		パワーポイント				
12	ホスピタリエの学	対 校生活とファーストステップ	,	パワーポイント				
13	起きてから寝るま	でのファーストステップ		パワーポイント				
14	ホスピタリエの 5	つの資質の再チェック		パワーポイント				
15	ホスピタリエの共	・感レポート		パワーポイント				
16	自分のイヤ 自分り	以外のイヤ		パワーポイント				
17	ホスピタリエから	みた地球温暖化		パワーポイント				
18	ホスピタリエから	みた衆議院議員総選挙		パワーポイント				
19	メタバースの世界	せのホスピタリエ		パワーポイント				
20	ホスピタリエから	みた男女雇用機会均等法		パワーポイント				
21	SNSとホスピタ	リティ(かもしれないゲーム &	&あるあるアンサー)	パワーポイント				
22	SNSとホスピタ	リティ(かもしれないゲーム &		パワーポイント				
23	ホスピタリエが考	えるホスピタリティ社会		パワーポイント				
24	ホスピタリエが考	えるホスピタリティ社会		パワーポイント				
25	学校生活の中でオ	スピタリエの学びが役立った	事例レポート	パワーポイント				
	評1	価方法・成績評価基準			履修上の注意			
	0%、授業姿勢20% G基準は、A(80点り	人上)・B(70点以上)・C(60点以		積極的な意見交換 ホスピタリティを	定着させる。			
実務紹	経験教員の経歴	ドレス	ススタイリストと	して現場に10)年間携わった。			

② <mark>科目名</mark>		<u> </u>	ノフトウェア活		ノノイグル寺	門学校 シラバス	
担当教	<mark>員</mark>	立島 信貴	実別	<mark>务授業の有無</mark>		×	
対象学	<u>科</u>	全科	対象学年	1	開講時期前前期		
必修・	選択	必修	単位数	時間数 30			
授業概要、目的、 授業の進め方			なパソコンスキルを	ř学び、word検♡	定に合格する		
学習目	目標)	サーティファイ ワード文書処	理能力検定3級	合格			
	ト・教材・参・その他資料	サーティファイ WORD20	19クイックマスタ	マー基本編 ワード	文書処理能力検定3	級問題集	
回数		授業項目、内容		学習	<mark>'方法・準備学習</mark>	・備考	
1~3	テキスト~36p	まで		実習			
4~6	~6 文書の編集			実習			
7~9	7~9 文書の印刷 文書の作成			実習			
10~12 表を使った文書の作成				実習			
13~16	図形や画像を使っ	た文書の作成		実習			
17 · 18	検定対策 問題集	練習問題 1・2		実習			
19 · 20	検定対策 問題集	練習問題 3 模擬問題1		実習			
21 · 22	検定対策 問題集	模擬問題 2・3		実習			
23 · 24	検定対策 問題集	模擬問題 4・5		実習			
25 · 26	検定対策 問題集	模擬問題 6 · 7		実習			
27 · 28	サンプル問題			実習			
29 · 30	ワード文書検定3編	吸 受検					
	評化	西方法・成績評価基準			履修上の注意		
)% 学習意欲10% i基準は、A(80点以	検定合格20% .上)・B(70点以上)・C(60点以上))・D(59点以下)と		ことで、検定合格率が ンをキープさせ、必ず	「アップすることから、 「終了するように考慮す	
実務経	経験教員の経歴			-			

科目名)	ノフトウェア活	用実習Ⅱ			
担当教	員	立島 信貴	実	努授業の有無		×	
対象学	科	全科	対象学年	1	開講時期	前期	
必修・	選択	必修	単位数		時間数	10	
授業概授業の	要、目的、 進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要なパソコンスキルを学習する。					
	習目標 パワーポイントの基本的操作を習得する。						
	テキスト・教材・参 考図書・その他資料						
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	習・備考	
1 • 2	パワーポイントの	基本操作 プレゼンテーション(の作成	実習			
3 • 4	文字やスライドの	編集 オブジェクトの作成		実習			
5~8	表やグラフの作成	表示効果とハイパーリンク		実習			
9 · 10	スライドショーの	実行 プレゼンテーションカス?	タマイズ	実習			
	評化	西方法・成績評価基準			履修上の注意	<u></u>	
	出席率70% 学習意欲30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)と する。						
実務経	経験教員の経歴						

2	国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス						
科目名		<u> </u>	オンライン英会詞		Jee 1112		
担当教員		藤田愛子	実務授業の有無	0	授業形態	対面と遠隔 	
対象学科		全科 必修	対象学年 単位数	1	開講時期 時間数	通年 25	
必修・選	1t						
授業概要 授業の進		スタディサプリEnglishを利用しお客様とのコミュニケーション 英語の問題を解くだけでなく、 す。毎回、単語テストを行い習	に英語は欠かせないた& 発話する力をつけるた&	り、英語力を引	蛍化します。		
学習目標 (到達目		英語での会話に緊張せず対応で	きる。				
	・教材・参考 その他資料	スタディサプリEnglish					
回数		授業項目、内容		学	智方法・準備学	習・備考	
1.2	オリエンテー?	ンョン Unit1		スタディー	サプリEnglish・ロール	プレイ・単語テスト	
3	Unit1 Lesso	n5 トレーニング4					
4	Unit2 Lesso	n10 トレーニング4					
5	Unit3 Lesso	n15 トレーニング4					
6	Unit4 Lesso	n20 トレーニング4					
7	Unit5 Lesso	n25 トレーニング4					
8	Unit6 Lesso	n30 トレーニング4					
9	Unit7 Lesso	n35 トレーニング4					
10	Unit8 Lesso	n40 トレーニング4					
11	テスト練習						
12 · 13	テスト						
14	振り返り						
15	Unit9 Lesso	n45 トレーニング4					
16	Unit10 Less	on50 トレーニング4					
17	Unit11 Less	on55 トレーニング4					
18	Unit12 Less	on60 トレーニング4					
19	Unit13 Less	on65 トレーニング4					
20	Unit14 Less	on70 トレーニング4					
21	Unit15 Less	on75 トレーニング4					
22	テスト練習						
23 · 24	テスト						
25	振り返り			+			
	哥	評価方法・成績評価基準			履修上の注	: :::::::::::::::::::::::::::::::::::	
成績評価基		<u>-</u>)・A(80点以上)・B(70点以上)・	C(60点以上)・D(59点	アプリを中心	に学び、単語テストも	適宜行う。	
以下)とする		LI Vm		: 11 ++=====	:# ሰ∓ ◊▽ F△ ≁ / !		
美務経	実務経験教員の経歴 外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり						

之 科目名			フューネラルヒ	ごジネス			
担当教	Ę	馬場秀憲	実務授業の有無	0	授業形態	遠隔のみ	
対象学	科	全科	対象学年	1年生	開講時期	後期	
<mark>必修・</mark>	選択	選択 必修 単位数 時間数 5					
授業概要、目的、 授業の進め方 1、教養としての葬儀の知識を身につける							
学習目的	目標 葬祭業界の知識を習得する						
	テキスト・教材・参 考図書・その他資料						
回数	投業項目、内容 学習方法・準備学習・備考					・備考	
1	1 冠婚葬祭の言葉の意味を知る。クイズを通して葬儀業界を身近に感じてもらう。			パワポで説明。レ	ジュメを配布。		
2	葬祭を取り巻く環	境(死亡者数増加~遺族の要望の	の多様化)を知る	パワポで説明。レ	ジュメを配布。		
3	葬儀の一般的な流	れと最近の葬儀スタイルを知る		パワポで説明。レ	ジュメを配布。		
4	ケーススタディか	らオリジナルの葬儀プランを考え	える	パワポで説明。レ	ジュメを配布。		
5	葬祭業界の職種を	知る。		パワポで説明。レ	ジュメを配布。		
	言平介 	西方法・成績評価基準			履修上の注意		
出欠席100% 葬儀業界を学ぶ機会を通じて、人を支える仕事としての共通点で 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ D(59点以下)とする。					る仕事としての共通点を		
実務経	験教員の経歴	葬祭ラ	ディレクターと	して現場に8年	間携わった。		

科目名	センスアップセミナー							
担当教		 高橋 香織	実務授業の有無	0	授業形態	 対面と遠隔		
対象学		全科	対象学年	1	開講時期			
が修・			単位数		時間数	15		
授業概要、目的、 業界に必要なセンスアップを実習をとおして習得				する				
学習目	目標 印象の良いヘアメイクを15分以内に出来るようになる。正しい姿勢で「歩く 立つ 座る」ができる 全目標) しい発生・発音が出来る。話し方ができるようになる。					座る」ができる。正		
	ト・教材・参・その他資料	ウイネット コミュニケーショ	ン技法 プリン	ント対応				
回数		授業項目、内容		学	習方法・準備学習	・備考		
1 2	2 ヘアメイク:おしゃれと身だしなみの違い ヘアスタイル			マー・				
3 4	ヘア仕上がりチェック フルデモンストレーション 眉のみ練習			ヘアメイク実習				
5 6	メイク練習			ヘアメイク実習				
7 8	ヘアメイクを完璧	に仕上げる		ヘアメイク実習				
9 10	歩き方:基本姿勢	・表情 お辞儀の仕方		テキスト28・29Pを参考にしながら				
11 12	話し方:発生・活	舌トレーニング		テキスト38~42p 50~52p				
13	発生・活舌トレー	ニング 敬語プリント		テキスト53~66p				
14 15	5 ビジネス会話 美しい日本語のフレーズ テキスト67~68 p							
	評化	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u></u>		
成績評価 する。	出席率80% 学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)と する。					きるように学習を重ねる		
実務経	経験教員の経歴	ドレス	スタイリストと	して現場に10)年間携わった。			

科目名		イベントプロデュースI						
担当教員		藤田愛子	実務授業の有無	0	授業形態	対面と遠隔		
対象学科	4	全科	対象学年	1	開講時期	通年		
必修・選	選択	必修	単位数		時間数	120		
授業概要、目的、			.、保護者に向けて	発表する				
学習目標 (到達目		進級制作の成功 自分たち自身の成長を実感する 自分たちで立てた目標を達成する						
	・教材・参考・その他資料	なし						
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	習・備考		
1 2	進級制作発表会の概	要と心構え						
3~10	テーマ・タイトル決	め						
11~20	役割分担・チームメ	ンバー役割決め、スケジュール作成						
21~60	個々制作							
61~80	チーム制作							
81~90	個人リハーサル①改	善善						
91~100	チームごとのリハー	サル①改善						
101~105	個人リハーサル②	改善						
106~112	チームごとのリハー	サル② 改善						
113~115	セッティング 通し	リハ						
116~118	全体リハーサル							
119~120	最終リハーサル							
	評值	西方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>		
学習意欲 50% 出欠席 50%					することに加えて、プリ 定着させるように指導す			
成績評価基 る。	基準は、A(80点以♪	±)・B(70点以上)・C(60点以上)・	・D(59点以下)とす	3 .				
実務経	験教員の経歴	外資	系ホテル勤務経	┗ 経験あり、英語講	講師経験あり			

科目名		-	ブライダルスタ	ンダード			
担当教	員	武田奈々	実務授業の有無	0	授業形態	対面と遠隔	
対象学	科	全科	対象学年	1年	開講時期	前期	
必修・	選択	必修 単位数 時間数					
授業概要、目的、 1、ブライダルの由来について理解する 授業の進め方 2、ディスカッションにて意見を出し合う							
	学習目標 一般教養として結婚式・披露宴を学ぶ(結婚式に招待されたときなど) (到達目標)						
	テキスト・教材・参 考図書・その他資料						
回数	数				習方法・準備学習	骨・備考	
1	結婚式にまつわる	意味や由来について		パワポで説明。ラ	ディスカッション。		
2	披露宴の演出につ	いて		パワポで説明。ラ	ディスカッション。	スカッション。	
3	披露宴の演出につ	いて		パワポで説明。ラ	ディスカッション。		
4	披露宴の演出につ	いて		パワポで説明。ラ	ディスカッション。		
5	結婚式に招待され	た場合のポイント説明		パワポで説明。ラ	ディスカッション。		
	評化	西方法・成績評価基準			履修上の注意	Ţ	
出欠席100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ D(59点以下)とする。							
実務経	経験教員の経歴	バンケットキャ	プテン・アテン	ダント・音響	・司会業務に13年	年関わる	

科目名		ホテル概論丨						
担当教員		鈴木 敬一郎	実務授業の有無	\circ	授業形態	対面と遠隔		
対象学科	+	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	通年		
必修・選	·····································	必修	単位数		時間数	15(前15)		
	株要、目的、 な職種とその業務内容を体系的に学び、業務の基礎知識の進め方 られる資質や心構えも理解し、この後に続く就職活動				て行く。そして、ホ			
学習目標 (到達目		1.ホテル業界の概要、ホテルの)種類、及び各部門の代表	表的な職種・訓 	業務内容の把握と碁	基礎知識の習得。		
	、・教材・参考 ・その他資料							
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考				
1、2	ホテル業界を取り	巻く環境・現況		レジュメ資料	4を配布し、重点ポ	イントを説明		
3、4	ホテルの種類・形	態						
5、6	ホテルの職種・職							
7、8	ホテルの形態 / ホ	テルの種類・組織・職種						
9、10	代表的なホテル 事	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■						
11、12	事例紹介 国内系力	トテル・ホテルチェーン						
13、14	ホテルで働く資質	〔・心構え / キャリアプラン						
15	科目まとめ							
	F	平価方法・成績評価基準			履修上の温	E 意		
成績評価基	出席(ミニ課題含む) 40点 授業態度 10点 中間試験 20点,期末試験 30点 ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、その後 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点 以下)とする。							
実務経								

科目名	ホテル実務丨					
担当教員		鈴木 敬一郎	実務授業の有無	\circ	授業形態	対面と遠隔
対象学科		国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選	· · · · ·	選択	単位数		時間数	5(前5)
	受業概要、目的、 お客様に対する基本姿勢を身に着けることに重点を置く。					
学習目標 (到達目		お客様への基本姿勢を身に着け	3			
	・教材・参考 その他資料	宿泊接遇の基本				
回数		授業項目、内容		学	'習方法・準備学	学習・備考
1	ガイダンス			テキストを中心に座学で学ぶ		
2	宿泊接遇の定義					
3	宿泊業における接					
4	マナーとは何か					
5	危機管理				—	
評価方法・成績評価基準					履修上の治	主意
出席率50% 授業態度10% レポート40% ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、その 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点 以下)とする。						
宝	験教員の経歴	ホテル((宿泊部門、料飲部門	9) にて計7	/年間勤務した。	

科目名	ホテル実務丨					
担当教員		鈴木 敬一郎	実務授業の有無	\circ	授業形態	対面と遠隔
対象学科		国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選	· · · · ·	選択	単位数		時間数	5(前5)
	受業概要、目的、 お客様に対する基本姿勢を身に着けることに重点を置く。					
学習目標 (到達目		お客様への基本姿勢を身に着け	3			
	・教材・参考 その他資料	宿泊接遇の基本				
回数		授業項目、内容		学	'習方法・準備学	学習・備考
1	ガイダンス			テキストを中心に座学で学ぶ		
2	宿泊接遇の定義					
3	宿泊業における接	 :遇の基本				
4	マナーとは何か					
5	危機管理				—	
評価方法・成績評価基準					履修上の治	主意
出席率50% 授業態度10% レポート40% ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、その 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点 以下)とする。						
宝	験教員の経歴	ホテル((宿泊部門、料飲部門	9) にて計7	/年間勤務した。	

A 科目名			ホテル英	話		
担当教	員	藤田愛子	実務授業の有無	0	授業形態	対面と遠隔
対象学	科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・	選択	必修	単位数		時間数	30
授業概: 授業の:	要、目的、 進め方	 英語の習熟度別に分かれ、 表現に必要な文法をすべて テキストを中心に学び、単 	網羅するよりも、	重点的に理解が必		/クを集中的に学ぶ。
学習目		英会話の向上				
	ト・教材・参	とにかくひとこと英会話(飲食	編/宿泊編)プリ	ント教材 リス <i>ニ</i>	ニングCD	
回数		授業項目、内容		学	習方法・準備学習	習・備考
1 • 2	問題を用いて30分程 答する。	度のレベルチェック(リスニング含む	む)を再度行い、解	レベルチェック	テスト	
3 · 4	基本文とレベル別の3 料飲 ①-⑤ STEP1・2	文書をしっかりと覚える。ロールプレイを(2・3	しながら会話をする。			
	基本文とレベル別の3 料飲 ⑥-⑪ STEP1・2	文書をしっかりと覚える。ロールプレイを(2・3	しながら会話をする。			
	基本文とレベル別の3 料飲 ⑪-⑮ STEP1・2	文書をしっかりと覚える。ロールプレイを(2・3	しながら会話をする。			
	基本文とレベル別の3 料飲 ⁽¹⁶⁾ - ⁽²⁰⁾ STEP1・2	文書をしっかりと覚える。ロールプレイを(2・3	しながら会話をする。			
	基本文とレベル別の3 料飲 ②-③ STEP1・2	文書をしっかりと覚える。ロールプレイを(2・3	しながら会話をする。	期末テスト	•	
13 · 14	期末テスト					
15 · 16	基本文とレベル別の3 宿泊 ①-⑤ STEP1・2	文書をしっかりと覚える。ロールプレイを(2・3	しながら会話をする。			
17 · 18	基本文とレベル別の3 宿泊⑥-⑪ STEP1・2	文書をしっかりと覚える。ロールプレイを\ ・3	しながら会話をする。			
19 · 20	基本文とレベル別の3 宿泊 ⑪-⑮ STEP1・2	文書をしっかりと覚える。ロールプレイを(2・3	しながら会話をする。			
21 · 22	基本文とレベル別の3 宿泊 ⑯-⑳ STEP1・:	文書をしっかりと覚える。ロールプレイを1 2・3	しながら会話をする。			
23 · 24	基本文とレベル別の3 宿泊 ②-② STEP1・2	文書をしっかりと覚える。ロールプレイを「 2・3	しながら会話をする。			
25 · 26	テスト対策					
27 · 28	テスト対策					
29 · 30	期末テスト				•	
	評化	価方法・成績評価基準			履修上の注意	
成績評価	60%、学習意欲40 基準は、A(80点以	% (上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)	に取りアプリを		ので、予習時間を十分 る。高校1年生レベル
とする。 実務 紹	経験教員の経歴	外資系	ミステル勤務経			

科目名			ホテルリサーチ			
担当教員		鈴木 敬一郎	実務授業の有無	0	授業形態	対面と遠隔
対象学科	+	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選	影 択	選択	単位数		時間数	50
授業概要 授業の進		多角的にホテルを分析し、今後 るための基礎を作る。	の発展にむけての課題や	対策を考え、	幅広い視野でホテ	ルを見られるようにな
学習目標(到達目		多くのホテルを分析し、様々な	角度からホテルを見られ	しるようになる		
	〜・教材・参考 ・その他資料	ホテルをつくるレシピvol2				
回数		授業項目、内容		学	2習方法・準備学	型習・備考
1、2	ガイダンス					
3、4	ホテルを知る意	意味を考える				
5~8	ホテル調査					
9、10	ホテル調査結り	果共有①				
11~14	ホテル調査					
15、16	ホテル調査結り	果共有②				
17~20	ホテル調査					
21、22	ホテル調査結り	果共有③				
23~26	ホテル調査					
27、28	ホテル調査結り	果共有④				
29~32	ホテル調査					
33、34	ホテル調査結り	果共有⑤				
35~38	ホテル調査					
39、40	ホテル調査結り	果共有⑥				
41~44	ホテル調査					
45、46	ホテル調査結り	果共有⑦				
47、48	48 ホテル調査					
49 • 50	まとめ、後期2	集備				
	=	評価方法・成績評価基準			履修上の語	È意
成績評価基以下)とす	基準は、S(90点以上	試験50%、レポート20% 上)・A(80点以上)・B(70点以上)・	C(60点以上)・D(59点 (宿泊部門、料飲部F	身に付け、就耶	戦活動に活かす。	えなホテルを見る視点を

科目名			料飲サービス	(実務)		
担当教	員	渡邉 恵	実務授業の有無	0	授業形態	対面と遠隔
対象学	科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・:	選択	必修	単位数		時間数	30(前20、後10)
授業概要、目的、 おテルの料飲部門に必要な知識を座学形式で身につける。 実際の機材などを確認しながら、目から入る情報も大切にする。						
学習目	目標)	基本的な料飲部門の知識を身に 知識、宴会部門の基礎知識)	つける(什器、食	器、備品類、西洋料	¥理、朝食、日本*	斗理、中国料理の基礎
	ト・教材・参・その他資料	ホテルテキスト 料飲I レス	トラン・宴会編			
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	当・備考
1	I 第1章 料飲語	部門の概要		ホテルの料飲部門	<u></u> -	
2.3	I 第1章 料飲語	部門の概要		ホテルレストランの種類、宴会の種類を知る		
4.5	I 第2章 什器	・食器・備品類の知識		銀食器の種類を学	٠٤٠	
6.7	I 第2章 什器	・食器・備品類の知識		銀食器の種類を学ぶ、陶磁器の種類を学ぶ		
8.9	I 第2章 什器	・食器・備品類の知識		ガラス食器の種類を学ぶ、リネン類、ワゴン類を学ぶ		
10.11	I 第4章 西洋料	料理の基礎知識		フランス料理のフルコースの概要を学ぶ		
12~15	I 第4章 西洋制	料理の基礎知識		1つ1つ細かく説明を入れ、知識を深めていく 朝良の付理内台でテクッカフノレッフファーストでコンプ		
16.17	I 第5章 朝食(の基礎知識			ファースト <u>生を</u> 学	
18	I 第6章 日本制	料理・中国料理の基礎知識		日本料理の種類や作法を学ぶ		
19	I 第6章 日本料	料理・中国料理の基礎知識		中国料理の種類や	作法を学ぶ	
20	確認テスト					
21	Ⅲ 第1章 宴会部	部門概要		宴会の概要を学ぶ		
22.23	Ⅲ 第2章 宴会 ⁻	予約		宴会の予約管理を	学ぶ	
24.25	Ⅲ 第3章 宴会☆	サービス		宴会のサービス方	法を学ぶ	
26.27	Ⅲ 第4章 婚礼士	サービスと慶弔の知識		婚礼のサービス方	法や慶弔の意味を	学ぶ
28.29	2年次の国家検定国	取得の意義と動機付け		国家検定について	説明し、取得の意	義や重要性を伝える
30	確認テスト					
	評化	価方法・成績評価基準			履修上の注意	
	定期テスト50%、出席率30%、学習意欲(授業態度)20% 基本的な知識を身につけることは大切です。基本的な備品の名前や西洋料理、朝食、日本料理、中国料理を学ぶことで料飲の世界の奥深さや魅力も知ってほしいと考えています。また、知識を身につけることでお客様へのな成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)と案内に自信がつき、接客時にお客様へお伝えすることができます。また、F					飲の世界の奥深さや魅力も につけることでお客様へのご
		各後、D評価となる。				た意欲につなげてほしいとも
実務経	経験教員の経歴	客船	無務員(サーと	L ごス全般)に6年	= 間携わった	

(2)			国際ホテル	・フフィダル特	引字校 ンフハス
科目名	*	斗飲サービス	(演習)		
担当教員	渡邉 恵	実務授業の有無	0	授業形態	対面
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	55(前30、後25)
授業概要、目的、 授業の進め方	前期は、ホテルでの料飲サーヒ実際に動きながら、自身の体に後期は、前期で学んだ技術が身また、さらに高度な技術を身に	□技術を覚えさせる ♪についているか確	ような意気込み 認し、成長を実	で進めていく。 感する。	す。
学習目標 (到達目標)	一連のレストランサービスがて	ぎきるようになる。			
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲I レス	ストラン・宴会編			
回数	授業項目、内容			習方法・準備学	
1、2 接客のお辞儀と技	挨拶、サービスの実践			大用語がきれいにで 皿の重さを感じて <i>。</i>	きる。プレート2枚持 みる。
3、4 プレートサービス	スと下げの方法の理解と実践				
5、6 トレイ、グラス、 理解と実践	ウオーターピッチャーの扱い方	が運び方の			
7、8 サーバーの扱いプ					
9、10 ワインボトルの扱	吸い方、サービスの実践				
11、12 前回の復習、一道	車の流れ(パン、プレートサーヒ	ごス、下げ)			
13、14 バンケット研修準	基備				
15~20 ホテルでのバンク	πット研修				
21、22 バンケット研修批	長り返り				
23、24 一連の流れ(お迎 お見送り)	望え、着席補助、オーダー、離席	5補助、	一連の流れを止	めながら、確認して	ていく
25、26 ^{一連の流れ(お迎} お見送り)	迎え、着席補助、オーダー、離席	括補助、	一連の流れを止	めながら、確認して	ていく
27、28実技テスト①					
29、30実技テスト②					
31、32前期技術の振り過	区 6				
33、34テーブルサービス	スの形態を実践で学ぶ		ロシア式、フラ	ンス式、イギリスラ	式、アメリカ式
35、36スープチュリーン	ノを実践で学ぶ				
37、38 ワイン抜栓を実践	桟で学ぶ				
39、40テーブルクロスの	D敷き方、畳み方等実践で学ぶ				
41、42 フルコースのテー	- ブルセッティングを実践で学ふ	× ×	前菜、スープ、 ワイン	魚、肉、水、シャン	ノパン、白ワイン、赤
43~48ホテルでのバング	アット研修				
49、50 バンケット研修拡	長り返り				
51、52日本料理のサーヒ	ごスを実践で学ぶ				
53、54中国料理のサーヒ					
55 全体振り返り、2	年生への意識づけ				
評	価方法・成績評価基準			履修上の注	·····································
	10%、学習意欲(授業態度)309 以上)・B(70点以上)・C(60点以_ 活合格後、D評価となる。		授業で習う技術を 自身のためでもあ	大切にしてください。 りますが、いちばんに	が身につくように、日々の また、技術を磨くことは はお客様に楽しいお食事の 里解しながら、技術を身に
実務経験教員の経歴	客船	★務員(サーヒ		 年間携わっ <i>た</i>	

(2)					レ・ノフイダル専	門字校 シラバス
科目名			プロトコー	ール		
担当教	員	渡邉 恵	実務授業の有無	0	授業形態	対面と遠隔
対象学	科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・	選択	選択	単位数		時間数	15
	授業概要、目的、 授業の進め方 NPO法人日本マナー・プロトコール協会が実施する日本人として社会人として必須のマナーや ル(国際儀礼)に関わる知識と技能を認定する資格です。国際ビジネス、サービス産業、教育等 め、就職、ビジネスの第一線で活かすことができます。					
学習目		マナー・プロトコール検定3級台	合格			
	ト・教材・参 ・その他資料	マナー&プロトコールの基礎知	識			
回数		授業項目、内容		学	習方法・準備学習	『・備考
1	オリエンテーショ	ン、マナーやプロトコールを学	ぶ意義	日本、西洋、ア	ジアのマナーの成りュ	立ち
2	第1章 マナーの原	歴史と意味		日本、西洋、アジアのマナーの成り立ち		
3	第2章 国際人とし	してのプロトコール		プロトコールの原則、パーティ、国旗		
4.5	第3章 社会人に	必要なマナー		言葉遣い、話し方、服装 贈答(祝儀、不祝儀、袱紗)、手紙のマナー		
6.7	第4章 ビジネスミ	シーンのマナー		会社の仕組み、電話応対 来客応対(茶菓応対)、ビジネス文書、電子メール		
8	第5章 和食のマラ	+-		和室のマナー		
9.1	第6章 西洋料理(かマナー		西洋料理とアジ	アの食事のマナー	
11	第7章 冠のしき7	たり		主な通過儀礼		
12	第8章 婚のしき7	たり		婚約、結婚式の	マナー	
13	第9章 葬のしき7	たり		葬儀、法要の日	本知識	
14	第10章 祭りのし	きたり		年中行事		
15	模擬問題					
	評化	価方法・成績評価基準			履修上の注意	Ţ.
		業態度)20%、検定合格30%		しきたりや食事の	つなぐ潤滑油。お付きで 作法、通過儀礼などがるなどがみなどがみないがある。	確認できます。
		(上)・B(70点以上)・C(60点以上 各後、D評価となる。)・F(59点以下)と	ロトコールは、業 わたって役立つも	種や職種が変わっても。 のです。	必要なものです。生涯に
実務経	経験教員の経歴	客船	乗務員(サーヒ	ごス全般) に6	年間携わった	

				国际がアル	7 7 1 7 77 77	11子収 フラハス	
科目名	科目名 ホテル業界・顧客研究						
担当教	· 員	渡邉 恵	実務授業の有無	0	授業形態	対面と遠隔	
対象学	科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期	
<mark>必修・</mark>	選択	選択	単位数		時間数	10	
授業概要、目的、 表し、共有することで興味を広げたり、全体の理解度高めていく。また、顧客としてホテルにいらっ お客様がどのような方々なのかを体験から学ぶ。							
学習目的		業界や顧客を理解し、様々なニ	ーズに対応できる。	ようになる。			
	ト・教材・参・その他資料	プリント教材					
回数		授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1、2	目的説明、調査テ	ーマ検討					
3、4	調査 ホテル業界	•顧客		パソコンで調査			
5、6	体験			体験			
7、8	共有			シートにまとめる			
9、10	まとめ						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	i i		
	確認テスト30%、出席率40%、学習意欲(授業態度)30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)と				をしましょう。それを体馴 よう努めましょう。	険することで、理解を深め、接	
する。※	する。※F評価者は追試合格後、D評価となる。						
実務経	験教員の経歴	客船	乗務員(サーヒ	ごス全般)に6年	間携わった		

) 科目名	2) 国際ホテル・フライタル専門学校 シラノ						
担当教	<mark>員</mark>	藤田愛子	実務授業の有無	×	授業形態	 対面と遠隔	
対象学	—————————————————————————————————————	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	 前期	
必修・	選択	必修	単位数		時間数	20	
	概要、目的、の表現ができる。 の進め方 1. 外国人と話すことになれる。英会話の楽しさをしり、表現を多く身につける。自己紹介ができ、の表現ができる。 2. 表現に必要な文法をすべて網羅するよりも、重点的に理解が必要な文法や合格に必要なテクニ中的に学ぶ。 3. テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。						
学習目		検定合格と英会話の向上					
	ト・教材・参	Interchange 5th(student boo	k) リスニングCC)			
回数		授業項目、内容		学	習方法・準備学習	習・備考	
1 2 3~6	発音方法や数字、電 Unit 1 Where are countries, and natio	ーズを板書し、自分の自己紹介を英 話やEメールの表現を学び、英作文 you from? Introductions and greeti onalities の基本文法をピックアップ	できる。 ngs; names,				
7~10	-	రం ou do? Jobs, workplaces, and schoo RESS CHECK PAGES 14-15	l; daily schedules;	単語テストあり			
11 12	【期末テスト】 今 上の得点がとれる。	までの学習内容を出題(リスニング	'含む)し、60%以				
13 14	総復習						
15 16	Unit3 How much ar items; colors and m	e these? Shopping and prices; cloth naterials	ning and personal				
17 18		he guitar? Music, movies, and TV p tions and excuses; dates and times	_				
19 20	PROGRESS CHECK	C PAGES 28–29		単語テストあり			
	· 評1	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価	単語テスト20%、実習課題60%、学習意欲20% 或績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以 下)とする。			分かりやすく教え 英語を理解しなか	るための言葉選びや例 がらも、伝える語彙力や たときの態度や評価に	と思うが、それを相手に 題準備への姿勢が重要。 数える気配りが、日常生 つながり、英語以上に活	
実務経	経験教員の経歴	外資系	 ベホテル勤務経	<u></u> 験あり、英会	 話講師経験あり		

<mark>科目名</mark>		Ę.	English Comu	unication		
担当教員	藤田愛子 実務授業の有無				授業形態	対面と遠隔
対象学科		国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択		必修	単位数		時間数	35
授業概要、目 授業の進め方		英語の基礎の確認。 特に単語とボキャブラリーを増 味だけでなく、複数覚えたり熟				
学習目標 (到達目標)		インプットしている英語を間違 かる。	きってもいいからア	" ウトプットしよう	うと努力する。英語で	ご話すって楽しいとわ
テキスト・教考図書・その		Academic English Vocabulary				
回数		授業項目、内容		学	習方法・準備学習	[]] ・備考
1 2 Unit 1	Getting I	Know to You				
3 4 Unit 1	Getting I	Know to You		単語テスト		
56 自己紹介	介の完成	発表		発表		
9 10 Unit 2	Welcome	e to your New School!				
11 • 12 Unit 2	Welcom	e to your New School!		単語テスト		
13・14 学校紹介	介 発表			発表		
15 · 16 Unit 3 S	Setting lea	rning Goals				
17 · 18 Unit 3 S	Setting lea	rning Goals		単語テスト		
19・20 将来の目	目標 発表	į		発表		
21 • 22 Unit 4	Academi	ic Success				
23 · 24 Unit 4	Academi	ic Success		単語テスト		
25・26 目標達成	成のための	行動を考える 発表		発表		
27 · 28 Unit 5 T	he Active	Learner				
29 · 30 Unit 5 T	he Active	Learner		単語テスト		
31・32 どんなき	 学びを自分	たに取り入れると良いか 発表		発表		
33~35振り返り	33~35振り返り・テスト テスト					
	評化	西方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>
単語テスト20%、	、実習課題	160%、学習意欲20%		# IA /# 0 /77 ·	1.1=1.25=5.	l. > 1= - 4 \\ / 1
成績評価基準は、 以下)とする。	A (80点	以上)・B(70点以上)・C(60)	点以上)・D(59点	英検準2級レベル。 取り掛かるように		ように、身近な話題から
実務経験教員	の経歴	外資系	ミステル勤務経!	・ 験あり、英会詞	舌講師経験あり	

				国际がプル		11子仪 ノノハス
科目名			海外語学研	于修	-	
担当教	員	藤田愛子	実務授業の有無	0	授業形態	遠隔のみ
対象学	科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・	選択	必修	単位数		時間数	10
	業概要、目的、 オンライン留学をします。いつも触れ合っている先生ではなく、海外にいる先生とオンラインで授業をうけ、英語だけでなく生活や文化についても教えてもらいます。					·ラインで授業をう
学習目 (到達	目標 インプットしている英語を間違ってもいいからアウトプットしようと努力する。英語で話すって楽しいとわ 達目標) かる。					
	テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	習・備考
1 2	留学説明会・レベ	ルチェック				
3 4	オンライン留学					
5 6	オンライン留学					
78	オンライン留学					
9 10	オンライン留学	振り返り				
	 評(価方法・成績評価基準			履修上の注意	- -
成績評価	単語テスト20%、実習課題60%、学習意欲20% 英検準2級レベル。とにかく話をさせるように、身近な話題から 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以 下)とする。					
実務紹	経験教員の経歴	外資系	ミホテル勤務経!	験あり、英会話	講師経験あり	

2					レ・ノフィダル専	門学校・シラバス
科目名	_		Hotel Busines	<u> </u>	1- VIII - 1 (VI	
担当教		藤田愛子	実務授業の有無	0	授業形態	対面と遠隔
対象学		国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・	選択	必修	単位数		時間数	30
	受業概要、目的、					
学習目標 (到達	<mark>習目標 職種とプロモーションの重要性の理解 </mark>					
	ト・教材・参・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容 学習方法・準備学習・備考					習・備考
1.2	ホテルの職種の確	認				
3.4	ブランディングと	は				
5.6	自分たちのブラン	ディングとは				
7.8	グループワーク					
9.10	ホテルツアーのた	めの事前学習				
11~14	ホテルツアー					
15.16	振り返り					
17.18	プロモーションと	は				
19~21	グループワーク					
22.23	チェックと修正					
24.25	ホテルツアーのた	めの事前学習				
26~28	ホテルツアー					
29 · 30	振り返り					
	評化	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>
課題試験	80%、学習意欲2	2 0%				
成績評価 下)とする		以上)・B(70点以上)・C(60点	:以上)・D(59点以			をふくめ身だしなみ、挨
実務経	験教員の経歴	外資系	(ホテル勤務経	- 験あり、英会	話講師経験あり	

科目名			TOEIC			
担当教	員	藤田愛子	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学	科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・	選択	必修	単位数		時間数	20
授業概: 授業の	要、目的、 進め方	TOEICの基本を知り、500点を目指す。ビジネスシーンで活かせる表現や発音の習得をする。 1、Listeningでは、スピードになれる。リンキングを耳にならす。 2、Readingでは、しっかりとした品詞の違いやPart5の点数アップを目指す				
学習目的	習目標 可達目標) TOEICの基本を知り、500点を目指す。					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料 TOEIC L&R TEST対策 500点コース (TAC)						
回数		授業項目、内容		学習	[」] 方法・準備学習	・備考
1~4	Part1 写真描写問	問題 問題形式を把握する		CDを使いながら問題を解き、解説する P45~		
5 6	Part 2 WH疑問:	文について		CDを使いながら問題を解き、解説する P57~		
7~10	Part 3 会話問題			CDを使いながら間	問題を解き、解説す	る P69∼
11 12	Part 4 放送文の	冒頭で、トークの種類を聞き取る	ろう	CDを使いながら問	問題を解き、解説す	ნ P81∼
15~20	Part 5 問題形式	を把握しよう 名詞 時制 現る	生分詞など	問題集の問題を中	心に解いて、解説す	する P95~
	評化	西方法・成績評価基準			履修上の注意	<u>.</u>
成績評価	Listening定期試験 4 0 %、Reading定期試験 4 0%、学習意欲 2 0%TOEICを解くこと自体はじめての学生が多い。正解率を上げることも大切だが、全体をモーラすることも大切。一つの単元に集中しすぎず、最後まで解き切ることをまずしなけらばなりません。下)とする。					
実務経	経験教員の経歴	外資	系ホテル勤務経	L 経験あり、英語詞	 構師経験あり	

科目名			English Exp	ression			
担当教		藤田愛子	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔	
対象学	科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	後期	
必修・i	選択	必修	単位数		時間数	20	
	雑誌やDVDなどから日常表現を学び、同じスピード、発音をもって話せるようになる。 1、身の回りの表現を英語で話してみる、自分のこと、家族のこと、得意なことなど 2、DVD、洋楽の表現からスピード、発音の練習 3、英語で表現する楽しさを体感する						
学習目標 (到達)		日常表現を身につけ、留学時に役に立てる。					
	テキスト・教材・参 なし 考図書・その他資料						
回数	授業項目、内容			学習	プ <mark>方法・準備学習</mark>	・備考	
12	イントロダクショ	ン 自己紹介		DVDや洋楽を適宜]使いながら進める。	,	
3 4	Family Treeを作る	5、英語で家族構成を言える、説	明できる				
5~10	DVD Friendsから	う表現を学ぶ 洋楽から表現を学	.s:	DVDや洋楽を適宜	'使いながら進める。	,	
11 · 12	職場体験の経験を	英語でまとめる		自分を表現するための英語は各自調べて、質問をする。			
13 · 14	スライドを作成す	3		表現はもちろん、表情や間も意識する			
15~20	リハーサル・発表			先生、他学生から	の評価を受ける		
	評化	西方法・成績評価基準			履修上の注意	<u></u>	
成績評価	成績評価其進け A (80点以上)・B (70点以上)・C (60点以上)・D(50点以				予想しながら主張を	内容だけでなく、その背 くみ取る。社会的背景も	
実務経	験教員の経歴	外資系	浜ホテル勤務経!	験あり、英会話	講師経験あり		

科目名	Dramatic I	Production(演	者・プレゼン表	現)	
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	0	授業形態	対面と遠隔
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	選択必修単位数			時間数	20
及業概要、目的、 授業の進め方 とはいなければできない構成力や役になりきり表現する力を磨く。 伝わりやすい表現や抑揚、発音を習得し、スティーブジョブズや米国大統領のように表情豊かに表記 TEDを使い、周りを引きこむ工夫を体感しながら、真似をすることから始める。					ることで本質を理解
学習目標 (到達目標)	英語プレゼンテーションコンテストの練習や本番で表現力を担当者や審査員から褒められる。				っれる。
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	TED、各種ビデオ教材				
回数	数 授業項目、内容			方法・準備学習	習・備考
1.2 レベルチェック	・チーム分け・introduction		TED		
3.4 TED① 読み取	るための英語理解・注意点の共有	・練習			
5.6 発音・抑揚チェ	ックを受けながら練習				
7.8 グループ練習・	リハーサル				
9.10 発表			•		
11.12 レベルチェック	・チーム分け・introduction		TED		
13.14 TED② 読み取	るための英語理解・注意点の共有	・練習			
15.16 発音・抑揚チェ	ックを受けながら練習				
17.18 グループ練習・	リハーサル				
19.20 発表			V		
	評価方法・成績評価基準 アロー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー			履修上の注意	i i
発表評価80%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以 下)とする。					
実務経験教員の経歴	外資系	系ホテル勤務経験	験あり、英会話	講師経験あり	

科目名			Discussion	n		
担当教	_員	藤田愛子	実務授業の有無	0	授業形態	対面と遠隔
対象学	科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	通年
<mark>必修・:</mark>	選択	必修	単位数		時間数	10
	授業概要、目的、 とを理解し、できないと決めつけるのではなく、できる方法を考え、アドバイスする前向きな思考を ける。					
学習目	目標 相手を否定せず、相互理解をする。					
	テキスト・教材・参 考図書・その他資料					
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	習・備考
1.2		や意見をブレーンストーミングながら相手の意見や考えを聞く。	-			
3.4	聞くこと、受け入	れることについて話し合う。				
5.6		や意見をブレーンストーミング ながら相手の意見や考えを聞く。	_			
7.8		や意見をブレーンストーミングながら相手の意見や考えを聞く。	_			
9.10		や意見をブレーンストーミングながら相手の意見や考えを聞く。	_			
	評化	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>
成績評価	学習意欲100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以 下)とする。				や常識で判断するこ	とは必要ない。
実務経	実務経験教員の経歴 外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり					

科目名			Gloval Act	tivity		
担当教	員	藤田愛子	実務授業の有無	0	授業形態	対面と遠隔
対象学	科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・	選択	必修	単位数		時間数	20
	授業概要、目的、 世界でどんなことが起こっているのか、SDG s を踏まえて勉強し、自分事として考えられる気持ちを養 各国の文化を受け入れ、接客に活かせるよう心がける。					うれる気持ちを養う。
学習目 (到達	目標 SDG s と異文化の理解					
	テキスト・教材・参 考図書・その他資料					
回数	回数			学習	方法・準備学習	留・備考
1.2	SDGsってなんだね	ろう				
3.4	調べ学習					
5.6	調べ学習					
7.8	調べ学習					
9~12	調べたことの発表					
13.14	SDGsについて県内	内企業のリサーチ				
15.16	SDGsについて県内	内企業のリサーチ				
17.18	発表					
19~20	SGD s ゲーム					
	評化	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u></u>
成績評価	発表試験80%、学習意欲20% 探求型学習になるが、こまめにチェックをし褒めることを忘れな 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以 下)とする。				をし褒めることを忘れな	
実務紹	経験教員の経歴	外資系	ミステル勤務経験	験あり、英会話	講師経験あり	

科目名			世界遺産検定	三対策			
担当教	 	藤田愛子	実務授業の有無	0	授業形態	対面と遠隔	
対象学	科	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	通年	
必修・i	選択	必修	単位数		時間数	20	
授業概 <mark>:</mark> 授業の	要、目的、 進め方	世界各国からお越しになるお客ぶ。テキストを中心にすすめ、			るために世界遺産を	中心とした地理を学	
学習目標 (到達		世界遺産検定 3級合格					
	ト・教材・参・その他資料	世界遺産検定 公式テキスト	ガイドブック				
回数		授業項目、内容			プ方法・準備学習	習・備考	
1.2	世界遺産の基礎知識		世界遺産検定 公	:式テキスト ガイ	ドブック		
3.4	日本の世界遺産						
5.6	人類の誕生と古代	文明					
7.8	アジア世界の形成	と文明					
9.10	ヨーロッパ ルネ	サンス・大航海時代					
11.12	アメリカ・オセア	ニアの文化					
13.14	近代国家の成立						
15.16	まとめ						
17.18	過去問題			過去問題集			
19.20	過去問題			過去問題集		<u> </u>	
	評化	西方法・成績評価基準			履修上の注意	▼ = 1	
		2 0% 以上)・B (7 0点以上)・C (6 0点	:以上)・D(59点以	暗記中心にならない	くようにする。写真や\	Youtube等も活用する。	
実務経	験教員の経歴		(ホテル勤務経験)	<u>l</u> 験あり、英会話	 請師経験あり		

科目名			中国語会	話			
担当教員		藤田愛子	実務授業の有無	0	授業形態	対面と遠隔	
対象学科	4	国際ホテル大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期	
必修・遺	選択	選択	単位数		時間数	25	
授業概要、目的、 授業の進め方 1. 中国語の発音を理解し、発音できる 2. ホテルやレストランで聞かれる、伝えること 3. 道を聞く、答えられる			を中心に会話ができ	£ 3			
学習目標(到達目	3日標 自己紹介、数字の聞き取り、簡単な案内ができる 到達目標)			ようになる			
	ト・教材・参・その他資料	中国語 はじめの一歩					
回数		授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1 • 2	中国語の発音 復	習		テキスト・発音の	反復と単語テスト		
3 • 4	自己紹介文・発表	<u> </u>					
5 · 6	人称代名詞;"是"の)文					
7 • 8	人称代名詞;"是"の)文					
9 · 10	指示代名詞;疑問詞	同疑問文;"的"の用法;					
11 · 12	指示代名詞;疑問詞	同疑問文;"的"の用法;					
13 · 14	副詞						
15 · 16	副詞						
17 · 18	動詞の文						
19 · 20	動詞の文						
21 · 22	「所有」を表わす	"有"〔ほか〕					
23 · 24	総復習						
25	期末テストと振り返り				•		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	意		
定期試験80%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			中国語を学ぶことが初めての学生が多いため、発音や書き方など 間違いやすいところを含めて伝え、勘違いが起きない工夫をす る。				
実務経	験教員の経歴	外資系	(ホテル勤務経	 験あり、英会話	 講師経験あり		

科目名	<u> </u>	ノフトウェア活		7 7 1 7·7· (1 1	子仅・ファハス
 担当教員	立島信貴	実利	- 努授業の有無		×
	全科	対象学年	2年	開講時期	 前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、 授業の進め方	データ入力、表計算、グラフ作り	成、データベース	捜査のスキルを学び	・ バ、EXCEL検定 ²	初級を受検する。
学習目標 (到達目標)	サーティファイ エクセル文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	サーティファイ EXCEL20	19クイックマスタ	ー基本編 エク <i>-</i>	セル文書処理能力検	定3級問題集
回数	授業項目、内容		学習	方法・準備学習	・備考
1~3 エクセルの基本	データの編集を表の編集		実習		
4~6 ブックの印刷 ク	ブラフと図形の作成 ブックの利用	ー 用と管理	実習		
7~9 関数 データベー			実習		
10~12 練習問題 1			実習		
13~15 練習問題 2 3			実習		
16~18 模擬問題 1 2			実習		
19~21 模擬問題3 4			実習		
22~24 模擬問題 5 6			実習		
25・26 模擬問題7 苦手	箇所の練習		実習		
27・28 サンプル問題 事			実習		
29・30 エクセル検定3級	- 受検				
評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20% 復習をメインに模擬問題を確実なものにすることで、検定合格 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)と 結びつく為、モチベーションをキープするよう考慮する。 する。					
実務経験教員の経歴			<u> </u>		

<u>科目名</u> キャリアデザインⅡ						
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	0	授業形態	対面と遠隔	
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	3	開講時期	通年	
必修・選択	必修	単位数		時間数	110	
授業概要、目的、 授業の進め方)学校生活の情報提供)就職活動準備					
学習目標	スムーズに学校生活が送れるよ	スムーズに学校生活が送れるよう情報の理解と整理をする				
(到達目標)	キャリア形成を考えられる時間	をもち、実際にイ	ンターンシップをす	すすめる。		
テキスト・教材・参 考図書・その他資料						
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1~20 前期オリエンテー	ション					
21~50 就職活動サポート						
51~70 後期オリエンテー	ション					
71~110 就職活動サポート						
評化	面方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲60% 出席40%						
成績評価基準は、A(80点 下)とする。	成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 最新の情報を扱うこと。就職応援サイトなどの活用がよい。					
実務経験教員の経歴	外資系	浜ホテル勤務経験	験あり、英会話	講師経験あり		

科目名	海外語学留学 海外語学留学						
担当教.	 員	藤田愛子	実務授業の有無	0	授業形態	対面のみ	
対象学	科	国際ホテル大学併修科	対象学年	3	開講時期	通年	
<mark>必修・</mark>	選択	必修	単位数		時間数	100	
授業概: 授業の	要、目的、 進め方	豆期留学をし、現地の学校に通う。 見地の生活様式や価値観を体験することで視野を広げる。 吾学力の向上にむけ、現地の学校のカリキュラムやスケジュールで活動する。					
学習目7		海外を自分の目で見ることで視野が広がる、気づきがある。					
	テキスト・教材・参 現地の学校に従う 考図書・その他資料 現地の学校に従う						
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	習・備考	
1	オリエンテーショ	ン					
2	クラス分けテスト						
3~100	選択した留学先の	カリキュラムに従う					
	評1	価方法・成績評価基準			履修上の注意	5	
留学先の	評価基準に従う	100%					
	成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経	経験教員の経歴	外資系	浜ホテル勤務経!	験あり、英会話	講師経験あり		

<mark>科目名</mark> 大学併修科目								
担当教員		藤田愛子	実務授業の有無	0	授業形態	対面と遠隔		
対象学科		国際ホテル大学併修科	対象学年	3	開講時期	通年		
必修・選択		必修	単位数		時間数	590		
授業概要、目的 授業の進め方	5 、	自分で選択した科目について学ぶ。 学位の取得。 大学の授業を併修しているため、時間管理を徹底する。						
学習目標 (到達目標)		レポート提出と試験合格。						
テキスト・教材・参 選択科目による。								
回数	授業項目、内容 学習方法・準備学習・備考					習・備考		
1 オリエン	オリエンテーション・テキストの確認							
2 履修の進	履修の進め方、テストの受け方の確認							
3~590 自分が選択した科目による								
評価方法・成績評価基準				履修上の注意				
大学の基準による 100%								
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
実務経験教員の経歴 外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり								

科目名 キャリアデザインⅡ							
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	0	授業形態	対面と遠隔		
対象学科	国際ホテル大学併修科	対象学年	4	開講時期	通年		
必修・選択	必修	単位数		時間数	40		
授業概要、目的、 授業の進め方	①学校生活の情報提供 ②就職活動サポート						
学習目標	スムーズに学校生活が送れるよう情報の理解と整理をする						
(到達目標)	内定をもらう						
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし						
回数	学習方法・準備学習・備考						
1~10 前期オリエンテー							
11~20 就職活動サポート							
21~30 後期オリエンテーション							
31~40 卒業準備・キャリアデザイン							
評化	履修上の注意						
学習意欲60% 出席40%							
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
実務経験教員の経歴 外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり							

<mark>科目名</mark> 大学併修科目								
担当教員		藤田愛子	実務授業の有無	0	授業形態	対面と遠隔		
対象学科		国際ホテル大学併修科	対象学年	4	開講時期	通年		
必修・選択		必修	単位数		時間数	760		
授業概要、目的 授業の進め方	勺、	自分で選択した科目について学ぶ。 学位の取得。 大学の授業を併修しているため、時間管理を徹底する。						
学習目標 (到達目標)		レポート提出と試験合格。						
テキスト・教材・参 選択科目による。								
回数	授業項目、内容 学習方法・準備学習・備考							
1 オリエン	オリエンテーション・テキストの確認							
2 履修の進	履修の進め方、テストの受け方の確認							
3~760 自分が選択した科目による								
評価方法・成績評価基準				履修上の注意				
大学の基準による 100%								
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
実務経験教員の経歴 外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり								